

政策推進プラン、行政運営プラン及び財政運営
プラン策定に係るパブリック・コメント手続

〔意見要旨と対応〕

令和 7 年 6 月

福岡市

目 次

1	パブリック・コメント手続の実施概要	1
---	-------------------	---

2	主な市民意見	2
---	--------	---

3 市民意見要旨と意見への対応

政策推進プラン

(1)	総論	5
(2)	分野別目標ごとの施策・事業	5
(3)	区ごとの施策・事業	16

行政運営プラン

(1)	取組方針及び推進項目等	17
-----	-------------	----

財政運営プラン

(1)	総論	21
(2)	主な取組み	22

I パブリック・コメント手続の実施概要

(1) 実施の目的

政策推進プラン、行政運営プラン、財政運営プランの策定にあたり、市民との情報の共有を図り、市民の意見を反映させるため、パブリック・コメント手続によってプラン原案を公表し、意見募集を実施しました。

(2) 意見募集期間

令和7年3月24日(月)から4月23日(水)まで〔1か月〕

(3) 実施方法

① プラン原案の公表方法

プラン原案を情報公開室、情報プラザ、総務企画局企画課、各区役所情報コーナー、入部・西部出張所において配布するとともに、ホームページにも掲載しました。

② 意見提出の方法

意見については、郵送、FAX、電子メール、窓口への持参のほか、オンラインによる受付を行いました。

(4) 意見の提出状況および対応

① 意見提出者総数

102名

② 意見件数

121件

③ 意見への対応

	■修正	□原案どおり	□記載あり	□その他	計
政策推進プラン	10件	28件	40件	8件	86件
行政運営プラン	3件	2件	18件	1件	24件
財政運営プラン	1件	10件	0件	0件	11件
計	14件	40件	58件	9件	121件

2 主な市民意見

各プランにおける主な意見の概要を以下にまとめます。

政策推進プラン

(1) 総論

- 新たな基本計画における最初の実施計画に基づいて、人口減少社会においても活力あふれる福岡市となることを期待している。

(2) 分野別目標ごとの施策・事業

- 外国人が疎外されることなく、日本人と共生し、お互いに楽しく安心して暮らせる社会の実現はとても重要なことだと思うので、頑張って取り組んでほしい。
- 障がい者への支援と同時に、その家族への支援も重要であるため、障がい者家族への支援についても言及していただきたい。
- 今後も節水型都市づくりを継続してほしい。
- 古い学校の設備を良くしてほしい。
- 福岡市には学生や会社員など、多くの人が通学・通勤しているので、そういった人たちが一緒に街づくりに参加できる活動があれば地域コミュニティの繋がりを認識でき、福岡市を好きになってもらえると思う。
- 地震が頻発化しているので、いざという時に様々な立場の人が安心して避難できるよう対策を進めていただきたい。
- 花粉の発生源抑制はもとより、紅葉や桜など山間部が美しい景観となるよう、計画的な植樹やそれに伴う沿道施設整備を推進していただきたい。放置竹林の整備等も鳥獣害対策において必要な視点かと考える。
- 映画やドラマ、コンサートなどのイベント誘致をもっと積極的に行うべき。ただ誘致するだけではなく、市の観光名所に招待したり、地元の食を提供したりすれば、それが有名人のSNSを通じて拡散され、経済効果にもつながってくると思われる。
- 中小企業の生産性向上が重要であり、デジタル化・DX化など、チャレンジする中小企業をしっかりと支援して欲しい。
- 福岡市は水道や環境、浸水対策など世界に誇る技術力を持っていると思うので、今後も技術協力を行って、ぜひ福岡市の知名度を国内外で高めていただきたい。

(3) 区ごとの施策・事業

- 早良区南部地域の活性化として、曲渕ダムパークをキャンプ場にするの良いのではないだろうか。
- 離島の人口が年々減少していることに危機感を覚えている。未婚者の出会いの場について、積極的に進めていただきたい。

行政運営プラン

(1) 取組方針及び推進項目等

- オンライン行政の推進は利便性の向上につながるものの、オンラインに対応できない高齢者等が取り残されることが心配であり、情報弱者と呼ばれる方々への配慮も継続してほしい。
- 人口減少を前提とし、行政も含めた社会全体で効率化が求められている中、デジタルなどの先端技術を活用していくことが大事である。
- 近所でも外国の方が増えているため、外国の方と地域との交流が深まるようなサポートをお願いしたい。
- 行政が率先して、仕事と家庭の両立が図れる職場環境の整備に取り組んでほしい。
- 行政運営の考え方として、最小の経費で最大の効果を得るという基本理念に基づき、効果的・効率的に運営していくことは重要である。福祉、子育てなど今すぐに求められる課題へ対応しつつ、インフラ整備などの中長期的な課題へ適切に対応していくため、能力のある職員を確保、育成していくことが必要である。

財政運営プラン

(1) 総論

- 税収を確保することで、市債残高の縮減など健全な財政運営を維持しつつ、子育て施策を拡充するなど、福岡市は、政策と財政運営の両方がうまくいっていると思う。高齢化の進展や老朽化した施設の更新による財政需要が見込まれる中でも、様々な政策に取り組みながら、市債残高の縮減を続けるなど健全な財政運営を維持してほしい。
- 市財政に関する説明について簡略な部分が多いので、より詳細な内容がわかる参考資料を教えてほしい。

(2) 主な取組み

- 滞納整理などの債権管理や、受益者負担の適正化など、公平性の観点から課題のある分野については市民の納得感を得られるよう、取組みを進めてもらいたい。
- 災害などが起きた場合に備えて、基金を積み立てておくべき。
- 社会情勢の変化に対応した行政サービスになるよう見直しを続けてほしい。
- 将来世代に負担が残りにすぎないように、借金を減らしてほしい。
- 将来負担比率が他都市以上に改善を続けているということで安心した。年度によって増減があっても、政令市平均程度を目指して管理してもらいたい。

3 市民意見要旨と意見への対応

各プランにおける「市民意見要旨」と「意見への対応と考え方」についてまとめます。

凡 例

【意見への対応と考え方】

- 修正 :意見趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり :意見趣旨に基づく原案の修正がないもの
- 記載あり :意見趣旨が原案に記載されているもの
- その他 :プランに関係のない個別の取組み等への要望・提案や単なる質問など

政策推進プラン

(1) 総論

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
1	新たな基本計画における最初のプランに基づいて、人口減少社会においても活力あふれる福岡市となることを期待しています。	☐ その他 今後とも、経済的な成長と心豊かな暮らしのバランスがとれた持続可能な都市づくりに取り組んでまいります。
2	福岡市として積極的に進めたい施策から、市民の暮らしに欠かせない施策まで、幅広く網羅されていると感じました。	

(2) 分野別目標ごとの施策・事業

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標Ⅰ 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている		
3	【人権】 人権教育・啓発の指標は、イベント来場者数以外に成果に直結するものが設定できると良いと感じました。	☐ 原案どおり 事業においては「ハートフルフェスタ福岡」への来場者数を定量的に把握し、より多くの方々に来場・参加いただけるよう、内容を工夫しながら開催するとともに、人権教育・啓発の推進にあたっては、施策Ⅰ-Ⅰの指標項目の1つに掲げる「一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合」により市民意識の推移も把握し、着実に施策を推進してまいります。
4	【バリアフリー】 目の不自由な方が道路を安全に横断できるように、横断歩道上の点字ブロックをもっと増やすべきだと思う。	☐ 記載あり 施策Ⅰ-Ⅰ「多様な市民が輝くユニバーサル都市・福岡の推進」に記載のとおり、道路のバリアフリー化を進めてまいります。
5	天神駅においてエレベーターがない。わからない。目立つように案内すること。	☐ 原案どおり 天神駅におけるエレベーターへの案内につきましては、天吊りサインや出入口サイン、地下連絡案内図等に文字やエレベーターピクトグラムを用いてご案内しております。 また、令和7年度は、床面にもエレベーターへの案内を設置することとしております。 いただいたご意見を参考に、今後もより分かりやすい誘導案内サインの設置に取り組んでまいります。
6	【インクルーシブな子ども広場】 各区1か所にできるインクルーシブな子ども広場は、長期的にはすべての公園がインクルーシブ思想のもとに整備されるよう取り組んでいただきたい。	☐ 原案どおり インクルーシブな子ども広場については、各区1か所の整備以降も、既存公園の再整備の機会を捉えるなど、さらなるインクルーシブな遊び場の充実に向けて検討を進めてまいります。
7	【多文化共生】 身の回りでも外国人居住者が増えていると実感しているので、お互いにとって住みよい環境づくりを進めていただきたい。	☒ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「福岡市で暮らす日本人と外国人がともに安心して生活し、活動できるよう、行政・生活情報の提供や区役所窓口等の多言語対応、日本語教育の推進、地域における交流・相互理解の促進等に取り組めます。」
8	外国人が疎外されることなく、日本人と共生し、お互いに楽しく安心して暮らせる社会の実現はとても重要なことだと思うので、頑張ってください。	

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標Ⅰ 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている		
9	【多文化共生】 外国人との共生に関しては、彼らが安心して食事ができる環境を整えることも大切だと思う。	☐ 原案どおり 安心して食事ができる環境や多様な食文化への対応は重要だと認識しており、ご意見は今後の参考にさせていただきます。
10	外国人が増加しており、英語を含めた外国語への関心も高いことから、インターナショナルスクールを増設してはどうだろうか。	☐ 原案どおり 海外企業の誘致や優秀な外国人材の呼び込みを行ううえで、外国人児童生徒の教育環境整備は重要だと認識しており、ご意見は今後の参考にさせていただきます。
11	今後、さらに少子高齢化が進展するようなので、社会システムやサービスを維持するには、DX等による効率化とともに、海外人材の確保が重要になってくるため、外国人から選ばれる都市になるよう、外国人の生活環境づくり等を推進して欲しい。	☐ 記載あり 施策Ⅰ-1「多様な市民が輝くユニバーサル都市・福岡の推進」に記載のとおり、外国人の生活環境づくりについては、行政・生活情報の提供や区役所窓口等の多言語対応、日本語教育の推進、地域における交流・相互理解の促進等に取り組んでまいります。
12	【健康づくり】 健康づくりやスポーツについて、施設の整備だけでなく市民が気軽に参加でき、体を動かす機会となるようなイベントを実施してほしい。	☐ 原案どおり 施策Ⅰ-2「一人ひとりが健やかで心豊かに暮らせる社会づくり」に記載のとおり、ウォーキングによる健康づくりイベントの実施や地域における健康づくり活動の支援など、市民が健康づくりに関心を持ち、気軽に取り組むことができる仕組みや仕掛けづくりを進めてまいります。 スポーツについては、市民総合スポーツ大会や、各区の体育館・プールにおけるスポーツ教室・イベントなど、市民が自分の体力や興味、関心などに応じて、気軽に体験できるスポーツの機会を提供しており、引き続き、スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携し取り組んでまいります。
13	【アート】 アートイベントについて、今後増加が見込まれる単独世帯の方々が心豊かに暮らしていくためにも、ひとりでも参加しやすい内容で実施してほしいです。	☐ 原案どおり 今後とも、こどもから高齢者まで、多くの市民が参加できるアートイベントとなるよう努めてまいります。
14	アート関連の施策が充実しているので、市民がその成果をしっかりと享受できるように取り組んでいただきたい。	☐ 原案どおり 様々な楽しみ方を提供するアートイベント等の開催や、文化芸術活動者が活躍できる環境づくりを通じて、市民一人ひとりが健やかで豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。
15	【文化芸術】 家族で文化芸術に触れる機会が福岡市の近隣市町では少ないため、美術館や博物館は今後も魅力ある運営に取り組んでほしい。	☐ 記載あり 施策Ⅰ-2「一人ひとりが健やかで心豊かに暮らせる社会づくり」に記載のとおり、優れた作品・資料の収集や、鑑賞者のより深い理解や広い視点等につながる工夫を凝らした展覧会の開催など、美術館・アジア美術館・博物館の魅力向上に取り組んでまいります。
16	【介護】 高齢者の増加に伴い、今後さらに介護関係人材が不足してくると思うため、人材確保や働きやすい環境づくりを進めていただきたい。	☐ 記載あり 施策Ⅰ-3「すべての人が安心して暮らせる福祉の充実」に記載のとおり、人材確保や働きやすい環境づくりのため、新たな人材の就労支援、労働環境・処遇の改善及び介護従事者の資質の向上に総合的に取り組んでまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている		
17	【介護】 外国人介護人材受入は、人材の数や質の充実と並行して、介護サービスの利用者側の理解促進や不安の解消も必要と考えます。	☐ 原案どおり 利用者側の理解促進や不安解消も重要であると考えており、いただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。
18	【障がい】 障がい者への支援と同時に、その家族への支援も重要であるため、障がい者家族への支援についても言及していただきたい。	☒ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「地域で生活する障がい者とその家族を支援するため、障がい福祉サービス事業所の業務適正化を推進するとともに、区障がい者基幹相談支援センターを中心とする、障がい福祉サービス事業所や地域包括支援センター、民生委員等のネットワークづくりを通して、関係機関の連携体制を充実・強化します。」 なお、障がいのある人の家族支援として、相談支援体制の構築や在宅レスパイト事業、短期入所や日中一時支援などの各種福祉サービスの提供を行っております。また、重度障がい者、強度行動障がい者のグループホームでの受け入れを促進しております。
19	重度障がい者、特に医療的ケア児の対応は社会的な課題だと思うので、国や県と連携して取り組んでいただきたい。	☐ 原案どおり 重度障がい者等の支援につきましては、社会的な課題と認識しており、国や県と連携しながら取り組んでまいります。
20	障がい児・者の支援が施策1と2にまたがっていることを理由に、施策の連携や一貫性が損なわれないよう取り組んでいただきたい。	☐ 原案どおり 障がい福祉施策につきましては、関係機関が連携し、障がい児・者への切れ目ない一貫した支援に取り組んでまいります。
21	【市民ホール】 新市民ホールが出来たが土日ぐらいしか出入りがない。市内小中学校のコンクールなどの機会をつくり、なんとしても稼働率をあげるべき。また、スケボーに限らず、広場ステージで利用できるように設計を配慮すること。	☐ 原案どおり 福岡市民ホールにつきましては、多くの方にご利用いただくよう、ホームページやSNSによる広報を行うとともに、学校等の教育機関を含む各種利用団体と連携したイベントの開催などを通じ、利用促進を図ってまいります。 ボートレース福岡パーク化事業については、スケートボード施設に限らず、イベント広場なども設置し、地域に開かれた魅力的な施設となるよう整備に取り組んでまいります。
分野別目標2 すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している		
22	【経済的負担の軽減】 中学校の標準服が高額であるため、秩序や規律の面で制服を着用させたいのであれば、オンラインでも購入できる紺や黒のものでも良いのではないかと。指定のごく一部の制服販売業者からしか購入させない仕組みにしている理由は何か。実態はカルテルそのものでは。福岡市にはこういう隠れ教育費の問題を把握し制服販売の実態に疑問を持つ職員は存在しないのか。給食費の無償化は予算が必要な上、不登校の子の家庭には経済的負担の軽減にはならないが、制服制度の改革であれば予算不要で、しかも全世帯の子どもが恩恵を受けられる。	☐ その他 福岡市立中学校標準服については、生徒や保護者等の声をきっかけに検討が始まり、生徒が安心して快適に学校生活を送ることができるものという基本的な考え方のもと、生徒や保護者へのアンケート調査を経て導入されたものです。 また、標準服の指定を含む校則については、学校毎に、生徒や保護者代表、地域代表、教員などを委員とした検討委員会を設置し、検討のうえ定めています。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標2 すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している		
23	【経済的負担の軽減】 給食費無償化は対外的に派手で分かりやすく賞賛されやすく注目度も高い政策なのであろうが、給食費を無償化したところで、制服やその他準備品に費用がかかり、保護者は中学校3年分の給食費に匹敵する隠れ教育費の負担を強いられたままである。他自治体では高校授業料の無償化により便乗値上げが生じているため、経済的負担に関する問題の本質を見極めた上で政策を考えてほしい。	□ 原案どおり 施策2-1「社会全体で子どもを見守り、子どもを望む人が安心して生み育てられる環境づくり」に記載のとおり、学校給食費の無償化に取り組んでまいりますが、社会経済情勢や国の動向も踏まえながら、取組みを進めてまいります。
24	第2子以降の保育料無償化や学校給食費の無償化など、国や他の地域に先駆けて子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組むことは素晴らしいが、本来、国が全国一律で実施すべきことと考えられるため、国への働きかけも併せて行ってほしい。	□ 原案どおり 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第2子以降の保育料の無償化や、学校給食費の無償化に取り組むとともに、国に対しても全国一律の支援制度の創設について、引き続き要望してまいります。
25	給食費無償化は、子育て世帯の経済的負担軽減を図るだけでなく、成長期にある子どもたちの心身の健全な発達や食に関する正しい理解と判断力を養う上でも重要な取組みであるため、ぜひ継続して取り組んでいただきたい。	□ 記載あり 施策2-1「社会全体で子どもを見守り、子どもを望む人が安心して生み育てられる環境づくり」に記載のとおり、学校給食費の無償化に取り組んでまいります。
26	【教育】 「GIGAスクール端末」についての注釈がほしい。	■ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり追記します。 「※ICT環境の整備を推進することで、多様な子どもたち一人ひとりに公正に個別最適化された学びの実現を目指す国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒一人ひとりに配備されている端末」
27	外国語教育の推進について、小学校3、4年においてゲストティーチャー（学習内容とかかわりが深い人）を活用とあるが、具体的にどのような人か。ネイティブスピーカーとの違いは何か。	□ その他 本事業のゲストティーチャーは、英語に堪能で、子どもの教育に関心を持っている地域の方です。一方、ネイティブスピーカーは、より実践的な英語力を身に付けさせることを目的とした、外国人英語指導講師です。
28	部活動指導員は、教員の負担軽減や専門的な技術指導による部活動の質の向上が図られるとともに、教員が子どもと向き合う時間の確保にもつながるものであるため、引き続き、増員を行っていただきたい。	□ 記載あり 施策2-3「自ら学び続け、他者を尊重し、協働できる子どもの育成」に記載のとおり、部活動指導員については、毎年度増員しており、今後も取組みを推進してまいります。
29	古い学校の設備を良くしてほしい。	□ 記載あり 施策2-3「自ら学び続け、他者を尊重し、協働できる子どもの育成」に記載のとおり、「福岡市学校施設長寿命化計画」に基づき、子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境を確保するため、老朽化した校舎等の計画的な改修・建替えに取り組んでまいります。
30	「授業を磨く」という表現は一般的なのでしょうか。技能やスキルを磨くというなら分かるのですが。やや違和感を覚えました。	□ 原案どおり 文部科学省が策定している「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」などで用いられており、福岡市においても引用しております。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標2 すべての子ども・若者が夢を描きながら健やかに成長している		
	【教育】	
31	学校空調、機器を置くだけではなく施設の断熱化を求める。コストをトータルで見ること。	□ 原案どおり 施設の断熱化については、「福岡市市有建築物の環境配慮整備指針」に基づき、建替え等の機会を捉え、取り組んでまいります。
32	子どもや若者が自己実現に向けてチャレンジできる環境づくりを進めるためには、学校で体験的な活動を重視し、各発達段階に応じた資質・能力を教科横断的な視点で身に付けさせるキャリア教育・職業教育を推進する必要があると考える。	□ 原案どおり キャリア教育については、児童生徒が社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けるために、体験的活動を重視し、全教育活動を通して取り組んでまいります。
33	福岡らしい特色のある高等専門学校をつくっていただき、地域で活躍できる人材がたくさん輩出されることを期待しています。	□ 記載あり 施策2-4「将来に夢や希望を抱き、意欲と志を持ってチャレンジする人材の育成」に記載のとおり、市の産業や地域の将来に貢献できる、高度な情報技術を有する人材の育成に向けて、高等専門学校の設置に向けた検討を進めてまいります。
34	多様な職業体験機会等の創出について、自分の将来について具体的に考え始める中高生の時期に、様々な職業について知り、体験できる機会があることは子どもにとってとても貴重なことだと思う。特に幅広い範囲の学習をする普通科の進学校で実施することで、今の学びが将来にどうつながるのかのイメージができて有効だと思う。	□ 記載あり 施策2-4「将来に夢や希望を抱き、意欲と志を持ってチャレンジする人材の育成」に記載のとおり、大学や専門学校、地場企業と連携した体験型プログラムを提供し、中学生・高校生が将来について考える機会を創出するなど、様々な体験機会等の充実に取り組んでまいります。
35	未来を担う子どもたちの可能性がひろがるよう、様々な業種の体験機会を提供していただきたいです。	
	【図書館】	
36	大濠公園に、カフェを併設し、ワークショップができるような、新しい図書館を新設してほしい。設計プロセスから市民が参加できる、みんなでつくる図書館の新設をお願いします。	□ その他 福岡市では、総合図書館本館と11の分館により、図書館サービスを実施しております。 現在、整備が検討されている南地域交流センター（仮称）に、図書館機能を導入するよう検討しているところであり、引き続き、図書館サービスの充実に努めてまいります。
分野別目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている		
	【地域コミュニティ】	
37	「地域活動の新たな担い手」という言葉が地域活動への参加を阻害しているのではないかと。皆が少しずつ、役割を分け合って地域コミュニティが崩壊しないようなレベルで「関わる」という発想が必要。	□ 記載あり 施策3-1「つながりと支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化」に記載のとおり、住民だけでなく、企業やNPOなどの多様な主体が地域全体で支え合う関係を築くことができるよう支援を行っていくこととしており、多様な主体が地域活動へ参加しやすい環境づくりに努め、共創の地域づくりを推進してまいります。
38	福岡市には学生や会社員など、多くの人が通学・通勤しているので、そういった人たちが一緒に街づくりに参加できる活動があれば地域コミュニティの繋がりを認識でき、福岡市を好きになってもらえると思う。	□ 記載あり 施策3-1「つながりと支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化」に記載のとおり、持続可能な地域コミュニティの実現に向けて、市民、NPO、企業、大学など多様な主体が地域全体で支え合う関係を築くための支援を行ってまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている		
39	【地域コミュニティ】 公民館機能の充実、地域コミュニティの活性化のためにも重要だと思うが、公民館事業の充実や魅力向上では、これまでのヘビーユーザーの利用率が上がるだけで、課題解決の方向性が異なる。ヘビーユーザーが利用する施設は新たな参加者（特に若い世代）にとっては敷居が高い。	■ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「住民の生涯学習及び地域コミュニティ活動の拠点としての機能強化を図るため、公民館の整備・長寿命化や、公民館事業の充実・魅力向上に取り組むとともに、公民館の場を活用し、地域課題へ対応するモデル事業を実施することにより、住民が立ち寄りたくなる公民館づくりを進めます。」
40	【地域ポイント事業】 地域ポイント事業は画期的なものであり、私が住んでいる自治体でも取り入れてほしいので、モデルケースとなるよう期待しています。	□ 記載あり 施策3-1「つながりと支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化」に記載のとおり、実証校区からの意見を聴取しながら、地域活動の活性化や支援につながる実効性のある仕組みの構築・運用に取り組んでまいります。
41	【地域交流センター】 南区に地域交流センターができることを楽しみにしている。若者が集まって学習したり、楽しんだりできるような機能を検討していただきたい。	□ 原案どおり 魅力ある地域交流センターとなるよう検討を進めてまいります。ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
42	【買い物支援】 ネット注文などに慣れていない高齢者も多いと思うので、適度な運動になって近隣の人とのコミュニケーションもとれる移動販売や送迎の支援を充実させてほしい。	□ 記載あり 施策3-2「生活の利便性が確保された地域のまちづくり」に記載のとおり、買い物等支援推進員を配置し、地域の状況に応じた持続可能な買い物等の生活支援の取組みを推進してまいります。
43	【節水型都市】 昨年、福岡市のホームページでも筑後川の水が少ないという情報が出ていましたが、社会活動に影響が出なかったのは福岡市の節水型都市づくりがあつてのことだと思います。今後も節水型都市づくりは継続してほしいと思います。	□ 記載あり 施策3-3「安全で快適な生活基盤の整備と災害に強いまちづくり」に記載のとおり、限りある水資源を有効に活用するため、漏水対策や下水処理水の利用などにより、節水型都市づくりを推進してまいります。
44	【道路環境整備】 西高宮小学校西側の交差点付近は道路が狭く、バスの運行が困難であり、自転車の走行空間も確保されていないので、十分な幅員を確保していただきたい。	□ 記載あり 施策3-3「安全で快適な生活基盤の整備と災害に強いまちづくり」に記載のとおり、県警等と連携しながら、安全で快適な道路環境づくりを進めてまいります。
45	自転車は車道を走ることが原則ですが、歩行者のすぐそばを走る自転車を多く見かけます。特に天神や博多ではそのような場面が増えているように感じます。安全のためにも、自転車道の整備を早めに進めていただきたいです。	□ 記載あり 施策3-3「安全で快適な生活基盤の整備と災害に強いまちづくり」に記載のとおり、歩行者・自転車・自動車が安全かつ円滑に通行できるよう、自転車通行空間の整備を推進してまいります。
46	【防災】 近年、異常気象と思われるような豪雨が頻発していることに加え、警固断層や南海トラフといった大規模地震の可能性も報道されており、災害対応は重要性を増している。福岡県西方沖地震から20年の節目の年であり、このような機会も捉えて、対策を充実させて欲しい。	□ 記載あり 施策3-3「安全で快適な生活基盤の整備と災害に強いまちづくり」に記載のとおり、関係機関と連携した訓練の実施による防災・危機管理体制の強化や、個別避難計画の作成による地域防災力の向上などに取り組んでまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている		
47	【防災】 地震が頻発化しているため、いざという時に様々な立場の人が安心して避難できるよう対策を進めていただきたいです。	□ 記載あり 施策3-3「安全で快適な生活基盤の整備と災害に強いまちづくり」に記載のとおり、様々な立場の方が安心して避難できるよう対策を進め、特に配慮を要する高齢者や障がい児・者等が安心して避難生活を送れるよう、福祉避難所の拡大や運営体制の強化などハード・ソフトの両面から災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。
48	近年、激甚化する水災害対策として流域治水という考え方が重視されていると思うので、追記をご検討いただければと思います。	■ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「流域治水の取組みとして、河川の改修や治水池の整備など、大雨による河川の氾濫防止に取り組むとともに、河床防護や護岸嵩上げ等の部分的改良など、局地的豪雨による河床洗堀や部分的な溢水の防止を行います。」
49	【防犯】 街頭防犯カメラの設置については支援となっていますが、街中の死角となる場所や犯罪の多い場所には、自治体と警察が協力して防犯カメラの設置を主体的にするべきではないかと思えます。	□ 原案どおり 地域の安全は地域で守るという「福岡市犯罪のない安全で住みよいまちづくり条例」の基本理念のもと、街頭防犯カメラの設置補助を地域団体に対して行っているところですが、繁華街などでは市による防犯カメラの設置を行っております。 今後も、警察や地域の皆様と連携しながら、より効果的な防犯対策のあり方について検討してまいります。
50	【感染症】 ノロウイルスが流行しているため、感染症への正しい知識の広報に努めていただきたい。	□ 記載あり 施策3-4「日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進」に記載のとおり、ホームページや市政だよりなどを活用した市民への啓発や、社会福祉施設等への研修などを通して、正しい感染症対策についての啓発に取り組んでまいります。
51	【モラル・マナー】 自転車通行空間延長だけでなく、学生への教育の徹底、県警と連携した取締りを行うこと。誰でもと言っていいほどされず、歩行者を危険にさせている。	□ 記載あり 施策3-4「日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進」に記載のとおり、自転車利用者の交通ルールの遵守・マナー向上に向けて、関係機関・団体、地域等と連携し、安全利用の啓発等に取り組んでまいります。
52	外国人が運転する自転車が怖いときがあるが、日本の交通法規を知らないかもしれないので、外国人へのモラル・マナーの周知等についても記載していただきたい。	□ 記載あり 施策3-4「日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進」に記載のとおり、自転車交通ルールの遵守・マナー向上に向けて、関係機関・団体、地域等と連携し、外国人を含め広く市民等に対し、安全利用の啓発等に取り組んでまいります。
53	自転車事故の発生件数は年々少なくなっているようなので、より意欲的な目標を設定していただきたい。	■ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 自転車事故の発生件数 初期値 1,212件(2024) 目標値 1,100件

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標3 地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている		
54	【モラル・マナー】 福岡市は飲酒運転の撲滅に向けて、どの自治体よりも積極的に活動するべきだと思います。県警としっかり連携しながら、お酒を飲んだ人には車や自転車を運転させない、運転する人には飲ませないような効果的な取り組みを是非実施して欲しいです。	□ 記載あり 施策3-4「日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進」に記載のとおり、飲酒運転撲滅（ゼロ）に向けて、市民、企業、関係団体、行政、県警等が一体となって取り組んでいくこととしており、改めて飲酒運転は「しない、させない、絶対に許さない。そして、見逃さない」という強い決意をもち、交通安全教室や飲酒運転撲滅キャンペーンなど様々な機会を捉えて広報啓発を行ってまいります。
55	博多区のぎんなん通りなどで、屋外広告物や放置自転車で通行の危険がある。県警と連携して問題を改めること。	□ 記載あり 施策3-4「日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進」に記載のとおり、モラル・マナーの啓発に取り組んでまいります。また、「屋外広告物の適正化」については、主要事業として掲げており、県警と連携して指導を行ってまいります。
56	天神西通り、天神駅で客引きなどが通行の妨げとなっているため、治安が悪化しないよう県警と連携して取り組むように。そして無駄な指導員は見直すように。黒ベストの警固公園安心安全センターの市職員はセンター内でスマートフォンで遊んだり税金の無駄である。絶えず巡回し、ゴミやたばこのゴミを拾ったりトータルで見守るように職務をすること。	□ その他 地域や警察との合同パトロール、県警と連携した取り組み、スピーカーによる注意喚起を行うとともに、客引き対策指導員による天神・大名地区での悪質な客引き行為者に対する巡回指導・注意喚起を行っております。 なお、同指導員は警固公園安心安全センターを利用しておりません。 ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
57	【動物愛護】 新聞で全国の動物の殺処分が1万頭を切ったという記事を読んだ。今後もかわいそうな動物が減っていくように取り組んでもらいたい。	□ 記載あり 施策3-4「日常生活における安全・安心の確保と地域福祉の推進」において、主要事業として「動物愛護の推進」を掲げており、犬猫の殺処分頭数を減らしていくため、動物の愛護や適正飼育の推進などに取り組んでまいります。
分野別目標4 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる		
58	【森林整備】 花粉の発生源抑制はもとより、紅葉や桜など山間部が美しい景観となるよう、計画的な植樹やそれに伴う沿道施設整備を推進していただきたい。放置竹林の整備等も鳥獣害対策において必要な視点かと思っています。	□ 原案どおり 施策4-1「都市と自然が調和したコンパクトで個性豊かなまちづくり」に記載のとおり、スギ・ヒノキ人工林について、広葉樹など花粉が少ない樹種への植替えを進めることとしており、紅葉や桜などへの植替えを計画しております。 また、国や県の補助金を活用し、沿道の施設整備や竹林の伐採・除去に取り組んでまいります。
59	私自身花粉症で、2人に1人以上が花粉症との民間調査結果もあるため、花粉が少ない樹種への植え替えを進めて欲しい。森林は広大で、継続的な事業実施が必要であるとともに、周辺の自治体との連携も重要であるため、計画的・効率的に事業を進めていただきたい。	□ 記載あり 施策4-1「都市と自然が調和したコンパクトで個性豊かなまちづくり」に記載のとおり、花粉の発生源を削減するため、スギ・ヒノキ人工林について、広葉樹など花粉が少ない樹種への植替えを進めてまいります。
60	【離島振興】 離島の振興について、家族で行きたくても飲食店や休憩所等がないことから、地域資源を活かしながら、地域と共生する観光施設の整備を推進していただきたい。	□ 記載あり 施策4-1「都市と自然が調和したコンパクトで個性豊かなまちづくり」に記載のとおり、島の魅力や受け入れ環境の向上に向け、島民主体の取り組みを支援してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標4 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる		
61	【一人一花】 区役所が花に彩られ、大変明るい雰囲気だと感じた。今後はぜひ通年で区役所を彩る花を飾るとともに、もっと花の力を活かした場を作っていただきたい。	□ 原案どおり 各区では一人一花運動として区役所敷地内の花壇の整備など様々な取り組みを行っております。また、Fukuoka Flower Showへの取り組みを通じて区役所の花装飾等がさらに盛り上がるよう取り組んでまいります。
62	【樹木等の維持管理】 鴻巣山周辺で道路を覆っていた木々が綺麗に整備され、大変見晴らしがよく、雰囲気も明るくなった。植樹等を進める一方で、樹木の適切な維持管理も重要であるため、鴻巣山と高宮浄水場横の展望台周辺においても、より見晴らしが良くなるよう、樹木の維持管理も記載していただきたい。	■ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「運動施設や総合的なスポーツレクリエーション施設を持った大規模公園、市民に親しまれる身近な公園などの整備や <u>適正な管理</u> を進めながら、老朽化した公園や周辺環境が変化した公園等を対象に、順次、改修などを実施するとともに、公共事業に伴う移植木の活用などについて検討します。」 なお、樹木等の維持管理につきましては、重要な視点と考えており、本市としても樹木を大切にする取り組みを進めておりますので、いただいた意見を踏まえ、適切に対応してまいります。
63	【環境問題】 環境問題には、福岡市だけではなく多くの自治体等と連携して取り組んでもらいたい。	□ 原案どおり 気候変動危機の一層の深刻化や生物多様性の損失及び汚染など、環境を取り巻く状況は世界規模で大きな問題となっており、広域的な対応が必要だと考えております。今後とも、国や他の自治体等との連携を強め、取り組みを推進してまいります。
64	【脱炭素】 脱炭素社会の実現には、ペロブスカイト太陽電池のような新技術を、公的機関が率先して導入し、民間企業や個人の利用促進に繋げていく必要があると思う。これまでも積極的に取り組んでいたと感じているが、今後出てくる新たな技術も率先して導入して、脱炭素社会の実現に向けて積極的にチャレンジしていただきたい。	□ 記載あり 施策4-3「持続可能で未来につながる脱炭素社会の実現」に記載のとおり、次世代型太陽電池の普及促進につきましては、市有施設への率先導入及び民間施設への導入助成を行います。 今後とも脱炭素社会の実現に向けて、イノベーションの早期社会実装などに取り組んでまいります。
65	炭素、水素バスのデモだけでなく、貸して走らせてCO2削減やPRに努めよ。活用できていない。	□ 原案どおり 脱炭素社会の実現に向けて、ごみ収集車や給食配送車などの市民に身近な車両の水素化を進めるなどCO2の削減に努めるとともに、効果的な広報啓発を行ってまいります。
66	【プラスチックごみ対策】 私が住む自治体では、プラスチックごみは地域の廃品回収への持ち込みが必要で、回収率も高くないと思われるので、福岡市が率先して取り組み、モデルとなっていただきたい。	□ 原案どおり プラスチックごみの対策については、令和8年度中に家庭ごみの分別区分にプラスチックを追加することとしており、その収集方法については、可燃ごみ等と同様の戸別収集を予定しております。 また、分別協力（回収）率の向上を図るため、SNS等の様々な媒体を活用し、広報啓発を行ってまいります。
67	プラゴミ、特に海へのゴミの回収に努めよ。マイクロプラスチックゴミはブランド資源のデメリットしかない。	□ 原案どおり 海洋プラスチックごみの対策については、ラブアース・クリーンアップなど清掃活動を通じた啓発や、ごみの減量、適正排出に向けた出前講座などの取り組みを推進してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標4 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる		
68	【プラスチックごみ対策】 2026年度中に家庭から出るプラスチックごみの分別収集を導入とあるが、現在のびん・ペットボトルとは別に回収するのか。また、回収されたプラスチックはどのように処理されるのか。汚れや分別間違いがある場合は完全なリサイクルは難しいのではないのか。	☐ その他 プラスチックの収集については、びん・ペットボトルと別に回収を行います。また、分別回収したプラスチックは、リサイクル事業者へ引き渡し、再びプラスチックの原料とします。なお、リサイクル事業者において、選別や洗浄を行います。リサイクルできないものなどの適切な分別方法については、SNS等の様々な媒体を活用し、広報啓発を行ってま
分野別目標5 磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている		
69	【観光・MICE】 第3次産業が多くを占める福岡市においては、産業振興の観点から観光は重要であり、多くの方が福岡を訪れ、食や歴史・文化など、福岡の素晴らしさを知ってもらいたい。外国の方などのルール・マナー違反も散見される。市民が気持ちよく観光客を受け入れるためにも、宿泊税を活用して啓発を行うなど、観光客のマナー向上に取り組んで欲しい。	☐ 記載あり 施策5-1「観光資源の磨き上げと戦略的なプロモーションの推進」に記載のとおり、文化芸術、食、祭りなどの福岡市固有の魅力を観光資源として磨き上げ、広域的な連携も図りながら戦略的なプロモーションに取り組みます。 また、外国人観光客へのマナー啓発等の実施に加え、まちなかや公共交通における混雑防止に向けた手ぶら観光の推進など、持続可能な観光振興に取り組んでまいります。
70	サイクルツーリズムの推進の対象に能古島や玄界島も加えてはいかがか。	☐ 原案どおり いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
71	【エンターテインメント】 映画やドラマ、コンサートなどのイベント誘致については、もっと積極的に行うべきだと思います。また、ただ誘致するだけではなく、市の観光名所に招待したり、地元の食を提供したりすれば、それが有名人のSNSを通じて拡散され、推し活に伴う巡礼などで経済効果にもつながってくると思います。	☐ 記載あり 施策5-4「人々を魅了するエンターテインメント都市づくり」に記載のとおり、映画等の制作費の一部を支援するなど積極的に誘致を行うこととしており、撮影された作品については、観光誘客に繋がるようロケ地紹介を行ってまいります。
72	暗いニュースであふれているので、音楽などで社会を明るくしてほしい。	☐ 記載あり 施策5-4「人々を魅了するエンターテインメント都市づくり」に記載のとおり、音楽などのクリエイティブ関連産業と連携し、市民や来訪者が楽しむことのできる体験型イベントの開催などに取り組んでまいります。
分野別目標6 都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれている		
73	【都心部】 天神ビッグバンや博多コネクティッドなど、規制緩和により民間投資を呼び込む手法は大変素晴らしいと思う。今後は、市として道路等の公共空間を整備するなど、より魅力的な都心部となるよう取り組んで欲しい。	☐ 記載あり 施策6-1「都市活力を牽引する都心部の機能強化と魅力向上」に記載のとおり、都心部では、各地区を結ぶ回遊空間において、地区ごとの特性に応じ、水辺や歴史などの既存資源を生かしながら、市民や来訪者が安心して楽しく回遊できるよう、花や緑、憩いと賑わいがつながる、快適で質の高い歩行者空間の創出に取り組んでまいります。
74	【官民共働】 天神エリアでは新しいビルが相次いで開業しているため、エリアマネジメント団体と一緒に新しい天神の賑わいづくりに取り組まれることを期待しています。	☐ 記載あり 施策6-1「都市活力を牽引する都心部の機能強化と魅力向上」に記載のとおり、エリアマネジメント団体と連携した道路空間の活用など、官民共働によるまちづくりを推進してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標6 都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれている		
75	【公共交通】 マリンメッセでコンサートやイベントが開催される際、天神のバス停に長蛇の列ができていることがあり、歩行者やベビーカーを利用している方が歩きにくそうにしている場面をよく見かけます。安全で快適な移動のためにも、交通アクセスの改善を進めていただきたいです。	☐ 記載あり 現在、マリンメッセ福岡で実施されるコンサートなど多数の乗客が見込まれる催事においては、混雑解消を目的に、交通事業者と協力して臨時バスの運行を行っているところです。 また、施策6-3「公共交通を主軸とした持続可能な総合交通体系の構築」に記載のとおり、都心拠点間の交通ネットワークの強化に取り組んでまいります。
76	【シェアサイクル】 シェアサイクルの設置区域の範囲を広げてほしい。	☐ 原案どおり シェアサイクル事業者に対し、エリア拡大の要望を行っていくとともに、ポート設置に向けてサポートを行ってまいります。
77	【国際金融】 台湾などの海外企業の九州への進出のハブとなれるよう、継続して国際金融機能の誘致に取り組んでいただきたい。	☐ 記載あり 施策6-4「成長分野の企業や本社機能の立地の促進」に記載のとおり、産学官が一体となった国際金融機能誘致の推進組織「TEAM FUKUOKA」の一員として国際金融機能の誘致に取り組んでまいります。
分野別目標7 チャレンジ精神と新たな価値の創造により、地域経済が活性化している		
78	【中小企業支援】 市内企業のほとんどが中小企業であり、その振興は福岡市にとって非常に重要。人手不足や後継者不足などの課題を抱える中小企業が事業を継続できるよう取り組んで欲しい。なかでも、生産性向上が重要であり、デジタル化・DX化など、チャレンジする中小企業をしっかりと支援して欲しい。	☐ 記載あり 施策7-1「地場中小企業の競争力強化などによる地域経済の活性化」に記載のとおり、中小企業が直面する人手不足や後継者不足などの経営課題に柔軟に対応し、事業を継続できるよう、デジタル化・DXの推進など生産性の向上に向けた支援を行ってまいります。
79	【農産物の振興】 一人一花運動を積極的に展開いただき、都心部を中心に彩りを感じられる街並みとなっている中で、市街化調整区域においては耕作放棄地が多くあることから花卉産業の振興も推進し、福岡市が代表する生産地となるよう併せて取り組んでいただきたい。	☐ 記載あり 施策7-2「農林水産業とその関連ビジネスの振興」に記載のとおり、意欲ある担い手への機械・園芸施設の導入支援など生産基盤の整備を行ってまいります。 また、市内産花きの認知度向上や消費拡大に取り組み、花きの魅力向上に努めてまいります。
80	【テクノロジー】 自然も大切であることは同意するが、新たなテクノロジーの開発にも取り組んでほしい。	☐ 記載あり 施策7-4「産学官民が連携した知識創造産業などの振興」に記載のとおり、ITやナノテクノロジー等の先端技術を活用した産業の振興などに取り組んでまいります。
81	【エンジニア】 「エンジニアの集積・交流の促進」における指標の「採用人数」というのが何の採用人数なのか分かりづらいため、より分かりやすい表現に修正してみてもいいでしょうか。	☒ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり記載を修正します。 <u>「支援の結果、採用に至った高度外国人ITエンジニアの人数」</u>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標8 アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感がある		
82	【国際貢献】 廃棄物埋立技術「福岡方式」は、福岡市に所在する国連人間居住計画とも連携して世界中で活用されているので、国連人間居住計画も記載してもらいたい。	■ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 「廃棄物埋立技術「福岡方式」や、浸水対策、節水型都市づくりなど、福岡市の住み良いまちづくりについて、 <u>国連ハビタット(国際連合人間居住計画)</u> やJICA(国際協力機構)等と連携し、開発途上国へ技術協力を行うなど、国際貢献・国際協力を推進します。」
83	インドネシアに住む友人が、福岡市の水道の漏水率の低さにとても驚いており、いつか福岡市で水道技術の勉強がしたいと話していました。福岡市は水道や環境、浸水対策など世界に誇る技術力を持っていると思いますので、今後も技術協力を行って、ぜひ福岡市の知名度を国内外で高めていただければと思います。	□ 記載あり 施策8-3「国際貢献・国際協力の推進と国際会議の誘致」に記載のとおり、浸水対策や節水型都市づくりなど、福岡市の住み良いまちづくりについて、 <u>国連ハビタット(国際連合人間居住計画)</u> やJICA(国際協力機構)等と連携し、開発途上国へ技術協力を行うなど、国際貢献・国際協力を推進してまいります。

(3) 区ごとの施策・事業

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
総論		
84	【早良区】 早良区南部地域の活性化として、曲淵ダムパークをキャンプ場にすると良いのではないだろうか。	□ 原案どおり いただいたご意見につきましては、今後の早良区南部地域の活性化に向けての取組みの参考にさせていただきます。
85	【西区】 離島の人口が年々減少していることに危機感を覚えている。未婚者の出会いの場について、積極的に進めていただきたい。	□ 記載あり 西区施策3「豊かな自然や歴史、伝統文化を生かし、その魅力を誇れるまち」に記載のとおり、未婚者の出会いの場を提供するため、島民主体による縁結びイベントの開催を支援してまいります。
86	【その他】 7区の目標がそれぞれ簡潔に書かれていてわかりやすい。	□ その他 いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。

行政運営プラン

(1) 取組方針及び推進項目等

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針1】《スマート》迅速で便利なサービスへの転換		
	【ノンストップ行政の推進】	
1	オンライン行政の推進は、市民・自治体ともに利便性の向上が図れると思いますが、一方でオンライン化に対応できない高齢者などが取り残され、いわゆる「役所の申請主義」が加速されることが心配です。オンライン化は進める一方で、情報弱者と呼ばれる方々への配慮も継続していただきますようお願いいたします。	□ 記載あり 4、5頁に記載のとおり、行政手続きのデジタル化を進めるとともに、市民一人ひとりの多様化するニーズに寄り添い、ぬくもりのある、これからの時代にふさわしい、きめ細かなサービスの提供に努めてまいります。 また、11頁に記載のとおり、電子申請システムの視認性や操作性の改善等を行い、誰もが使いやすく分かりやすいシステムとなるように努めてまいります。
2	高齢者やハンディキャップのある方でもできるような手続きのシステムを作してほしい。	
3	「使いやすく分かりやすいオンライン手続きの推進」について。福岡市では各種手続きがオンライン化されていますが、どの手続きがオンラインでできるのか、手続き方法がどのようになっているかなどの情報を見つけるまでが分かりにくく非常にもったいないので、手続きにたどり着くまでの部分をより分かりやすくしていただきたいです。	□ 記載あり 11頁に記載のとおり市民の方の利便性向上を目指しており、オンライン化されている手続きについては、福岡市ホームページ内の手続き一覧を見やすいように整備し、周知を図っております。今後とも、必要な手続きに分かりやすくとどり着けるよう努めてまいります。
4	行政手続きのオンライン化について、オンライン申請ができない層は一定数おり、申請は窓口が主になっている。オンライン申請の場合も、その後の処理を印刷して紙でしているのならば、逆に手間が増えることになり、業務効率化につながっていないのではないかと。	□ 記載あり 11頁に記載のとおり行政手続きのデジタル化を進めるとともに、41頁に記載のとおりRPA等を活用し、デジタル前提の業務プロセスの見直しに取組むことで、行政事務の効率化に努めてまいります。
5	「オンライン手続き申請に対する結果通知のデジタル化」について、子どもの保育園や固定資産税の関係で郵送で通知をいただくことがあります。紙の通知を保管しておく習慣はあまりなく、常々発送にかかる事務コストや、郵送料や封筒・紙代などの費用が無駄ではないかと思っていました。デジタル通知だと、市民としても通知の内容を即時に確認でき、アプリ等を通じていつでも見返すことができるほうが便利だと思いますし、紙を使わなくてよいので環境にも優しいと思います。デジタル通知が当たり前になるといえる面で行政コストが削減できると思うので、力を入れてほしいと思います。	□ 記載あり いただいたご意見を参考に、11頁に記載のとおり、オンライン手続き申請に対する結果通知のデジタル化を推進することで、市民サービスの向上と行政運営の効率化を図ってまいります。
6	住民票がコンビニで発行できるのはとても便利ですが、あまり知られていないと感じます。また、発行できることは知っていても、操作が難しいのではと思っている人もいます。今後広報に力を入れていただくと、もっと利用が広がると思います。	□ 記載あり 12頁に記載のとおり、コンビニエンスストアにおける証明書交付の促進のため、引き続き、広報を行ってまいります。
7	引越し時のオンラインサービスについて。住民票の異動だけで何時間と待っており、わざわざ休みをとらなければならない状態が恒常化している。デジタル化の推進によりオンライン手続きも進められているが広報が十分でないと感じることが多い。現状でも広報は行われているものの知っている市民が少ないと感じている。市営地下鉄がある福岡市だからこそ電車や駅での広報にもっと注力し、引越しシーズンにスムーズなサービスが受けられるよう改善してほしい。	□ 記載あり 13頁に記載のとおり、引越し手続きのオンライン予約サービス及び国の引越しワンストップサービスの両サービスについて、事業の周知・PRを行い、利用促進を図ってまいります。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針1】《スマート》迅速で便利なサービスへの転換		
	【AIなど最先端技術等の活用】	
8	人口減少を前提とし、行政も含めた社会全体で効率化が求められる中、デジタルなどの先端技術を活用していくことが大事だと思います。推進項目2として、AIなど最先端技術等の活用とありますが、実行項目では「AIの活用」について包括的な項目が1つと水道局の取組みが1つのみとなっています。今後、取り組みは増えていくとは思いますが、具体的な取組みをさらに増やしていくことが必要ではないかと思います。	☐ 記載あり 14頁に記載のとおり、市民の利便性の向上と業務の効率化を推進するため、市民サービスや内部事務へのAI技術の活用検討に取り組んでまいります。
9	AIなどの最先端技術等を活用した取組みや、時代にあったワークライフの推進の取組みはよいと思う。	☐ 記載あり 14頁及び42頁に記載のとおり、今後ともAIなどの最先端技術等の活用や時代にあったワークスタイルの推進により、迅速で便利なサービスへの転換や変化に柔軟に適應する組織づくりに努めてまいります。
10	認可外の保育園についても空き情報をWebで公開してほしい。	☐ 記載あり 18頁に記載の保育所の空き状況などの保活関連情報については、認可の保育施設等に限らず、幼稚園や企業主導型保育施設なども含めて積極的な情報発信を検討することとしております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
【取組方針2】《ぬくもり》多様なニーズに寄り添うサービスの提供		
	【市民とのコミュニケーション推進とぬくもりのある区役所等のサービス拡充】	
11	「ユニバーサルデザインに配慮した広報」は、人口が多様な市民が暮らす福岡市において、とても大切な取り組みだと思います。指標が職員研修の実施回数になっていますが、研修の結果、職員が理解できているか、実行できているかを指標にしてもよいのではないかと思います。	☐ 原案どおり 職員研修を継続して実施することで、職員の意識を高めていくこととしており、研修の実施回数を指標として定めております。いただいたご意見も参考に、受講者アンケートにおける理解度を踏まえながら研修内容の充実を図ってまいります。
12	福祉の総合相談窓口では、女性がひとりで安心して子どもを産み育てることができるよう シングルマザーへの支援をお願いいたします。たとえば、産後や病気の際にヘルパーを派遣するなどの相談に乗っていただけるとよいと思います。	☐ 記載あり 21頁に記載のとおり、ひとり親家庭や子育て支援に関する相談支援も含めた、福祉に関する様々な課題を抱えた方に、関係部署や関係機関と連携しながら包括的な相談支援を実施してまいります。
13	相談窓口として困りごとを自覚している方だけでなく、アウトリーチの機能も充実してほしい。また、どんな支援が可能か広く関係機関に広報してほしい。	☐ 記載あり 21頁に記載のとおり、関係部署や関係機関と連携しながら包括的な相談支援を実施するとともに、生活自立支援センター等によるアウトリーチと密に連携しながら必要な支援を行ってまいります。また、様々な広報媒体により、支援内容について関係機関等に対し、広報してまいります。
14	市民にぬくもりのある区役所のサービス拡充について。市内でも感じるのだが、区役所にはベンチや椅子、テーブルが少なく待ち時間やちょっとした書類の整理が難しいと感じている。もちろん区役所の面積やレイアウトは変えられないと思うが、ベンチやちょっとした机などがあれば、一息つきたいときや子供の荷物の整理などに有効活用できると考える。	☐ 記載あり 22頁から24頁に記載の各区の取組みについては、ぬくもりのある区役所に向け、レイアウトの変更やキッズスペースの設置など、市民サービスの向上に努めております。すべての方が利用しやすい区役所となるよう、引き続き取り組んでまいります。
15	近所でも外国の方が増えているため、それらの方へのごみの出し方などきめ細かな情報提供をお願いしたい。また、外国の方と地域との交流が深まるようなサポートをお願いしたい。	☐ 記載あり 在住外国人への情報提供については、転入時の生活ルール・マナーの紹介や、多言語による生活情報の提供などを行っております。また、地域における日本人と在住外国人の交流については、32頁に記載のとおり促進していくこととしており、いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針2】《ぬくもり》多様なニーズに寄り添うサービスの提供		
16	【市民や多様な主体との共創・共働】 ユマニチュードという言葉はまだまだ世間に認知されていないと思うし、認知させなければならぬ意味もよくわからない。	■ 修正 ユマニチュードの認知度向上については、認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちの実現に大きく寄与するものと考えております。医療・介護の専門職や、家族介護者をはじめ、地域や企業、児童生徒など対象に応じた講座の展開や、広報等を通し、今後ともしっかり普及促進に努めてまいります。ご意見を踏まえ、ユマニチュードの語句の説明を注釈に追記しております。
【取組方針3】《しなやか》変化に柔軟に適應する組織づくり		
17	【業務の効率性・生産性の向上】 まずは行政が率先して引き続き仕事と家庭の両立が図れる職場環境の整備（テレワーク、フレックスタイムなど）に取り組んでいただきたい。	□ 記載あり 42頁に記載のとおり、多様で質の高い働き方を推進するため、テレワーク環境の整備・拡充に取り組んでまいります。 また、52頁に記載のとおり、福岡市特定事業主行動計画に基づき、時間外勤務の縮減や年次有給休暇の取得促進、男性職員の家事育児参画推進等に取り組むとともに、令和7年度からはフレックスタイム制度を導入しております。 引き続き、全ての職員が職業生活と家庭生活の両立を図れるような職場環境の整備に取り組んでまいります。
18	「データを活用した行政運営（EBPM）の推進」について、グラフや表、GISを使ってわかりやすく市の現状や施策の実施状況、その効果をHP上で簡単に見ることができると、発信力のあるものだけではなく、もっと広く市の取り組みに関心を持つことができ、福岡市の頑張りをさらに評価してもらえるのではないかと思います。 また、個人的には、データの裏付けにより市民の納得感を高めることが必要そうな医療費などの削減や、教育現場での児童生徒の個別最適な学びの実現などでEBPMを推進してもらいたいと思います。	□ 記載あり 42頁に記載のとおり、データを活用した行政運営（EBPM）の推進において、市政に関するデータを分析・視覚的に確認できるダッシュボード等の活用などにより、市政への納得感が高まるよう、市の現状や施策の実施状況についての情報発信に努めてまいります。
19	災害時に備え、主要道路以外の住宅地付近の道路についても無電柱化を進めていただきたい。	□ その他 無電柱化は、災害時の電柱倒壊による道路閉塞を防ぎ、避難路や緊急車両の通行路を確保できるという防災上の効果があります。一方で、住宅地の生活道路では、幅員が狭い歩道や歩道がない狭い道路が多く、地上機器の設置場所の確保が技術的課題であることから、防災上重要な緊急輸送道路の無電柱化を優先しつつ、住宅地の生活道路についても、国や他都市の取り組み状況を調査・研究し、実現可能性を検討してまいります。
20	【コンプライアンス推進と組織活性化】 柔軟かつ機動的な組織体制の構築について。豪雨による自然災害等の緊急事態にも柔軟かつ機動的に対応するには、平時からある程度余裕を持った職員数を確保しておく必要があると思われるため、組織間のバックアップ体制が構築できるよう、条例定数の削減を目標とせず、十分な職員数の確保に取り組んでいただきたい。	□ 記載あり 様々な行政課題に柔軟かつ機動的に対応できるよう、51頁に記載のとおり、条例定数の削減目標は定めておりません。 組織体制の構築にあたっては、ICTや民間の活用などにより既存組織の見直しを図りつつ、業務の質と量に応じた適切な職員配置に取り組んでまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針3】《しなやか》変化に柔軟に適應する組織づくり		
	【コンプライアンス推進と組織活性化】	
21	外郭団体の見直しについて、各団体のKPI達成率を指標としているが、様々な目的、業務内容、設立経緯等がある何十の団体の各指標を一括りに評価することはやや乱暴ではないか。	■ 修正 外郭団体においては各団体ごとにKPIを設定しており、そのすべてのKPIのうち、目標値を達成したものの割合をKPI達成率として行政運営プランの指標としております。ご意見を踏まえ、その趣旨がわかるよう注釈を追記しております。 各団体がその使命を果たすことができるよう、引き続き必要な見直しを行い、より効果的・効率的な行政運営を推進してまいります。
22	近年、ハラスメント対策が組織として求められています。確認した限り記載がないように思いました。福岡市では、部長級職員がハラスメントで処分されたにも関わらず、組織運営のための行政運営プランにハラスメント対策の記載がないのはいかがでしょうかと思います。プランに記載することで、組織としての姿勢を明確にすべきだと思います。	■ 修正 ハラスメント対策につきましては、推進項目⑥コンプライアンス推進と組織活性化における環境づくりの一環として推進していくこととしておりましたが、ご意見を踏まえ、ハラスメント対策も含めた風通しの良い職場づくりの推進について新たな実行項目をプランに記載し、組織としての姿勢を明確にしております。
23	ワーク・ライフ・バランスの推進について。市民サービスの向上には、市職員の仕事に対する高い意欲が必要だと思われるため、市職員の意欲の向上に向けて、働きやすい職場環境整備にしっかりと取り組んでいただきたい。	□ 記載あり 52頁に記載のとおり、ワーク・ライフ・バランスの推進については、福岡市特定事業主行動計画に基づき、時間外勤務の縮減や年次有給休暇の取得促進、男性職員の家事育児参画推進等に取り組んでおります。 また、令和7年度からテレワークの拡充やフレックスタイム制度の導入も行っており、引き続き、職員が働きやすい職場環境整備に取り組んでまいります。
24	行政運営の考え方として、プラン記載の最少の経費で最大の効果を挙げるという行政運営の基本理念に基づき、効果的・効率的にすすめていくことは重要だと感じました。社会全体として生産年齢人口が減少していく中、福祉や子育てなど今すぐに求められる課題へ対応しつつ、インフラ整備や行政サービスのあり方など中長期的な課題へ適切に対応していくため、能力ある職員を確保、育成していくことが必要だと思います。推進項目6に記載の人材の確保等について、従来のプランの実行項目の継続にとどまらず、状況に応じて追加する必要があると考えます。	□ 記載あり 職員採用試験の受験者数は減少傾向にあり、人材の確保・育成の重要性が高まっていることを認識しており、53頁から56頁に記載のとおり取り組んでいくこととしております。 なお、令和7年度に「福岡市職員の人材育成・活性化プラン」を改定することとしており、同プランに基づき、社会経済情勢や行政需要の変化に対応すべく、今後の市政を支える有為な人材の確保や人材育成の取組みを推進してまいります。

財政運営プラン

(1) 総論

番号	意見要旨	照会
総論		
	【全体】	
1	全国的な人口減少の中、財源を増やしながら、市債残高の縮減や将来負担比率の低減を実現しており、財政運営の状況としては素晴らしい。 公共施設を安心・安全に利用できるということは非常に大事なことで、市債残高や将来負担比率などの指標にとらわれすぎず、仮にこれらの指標が一時的に増加することがあったとしても、必要な事業への投資を最優先に考えてほしい。	□ 原案どおり 社会保障関係費や公共施設の建替えなどにかかる経費が増大していく中であっても、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、市民ニーズの多様化、突発的な災害や経済情勢の変化に柔軟に対応しながら、生活の質の向上と都市の成長のために必要な施策を着実に推進していくため、政策推進プランに基づき投資の選択と集中を図るとともに、歳入の積極的な確保や行政運営の効率化、既存事業の組替えなど不断の改善に取り組みます。 また、中長期的には、施策事業の推進により税源の涵養を図りつつ、超高齢社会に対応する持続可能な仕組みづくりやアセットマネジメントの推進、市債発行の抑制による市債残高の縮減などにより財政構造を強化し、将来に渡り持続可能な財政運営に取り組んでいきます。
2	税収を確保することで、市債残高の縮減など健全な財政運営を維持しつつ、子育て施策を拡充するなど、福岡市は、政策と財政運営の両方がうまくいっていると思う。 高齢化の進展や老朽化した施設の更新による財政需要が見込まれる中でも、様々な政策に組み込みながら、市債残高の縮減を続けるなど健全な財政運営を維持してほしい。	
3	高齢化や施設が老朽化していく中でも、健全な財政運営をしてほしい。	
4	市債残高の縮減や財源確保の効果が、子育てや教育施策の充実につながっていると実感できている。 社会が複雑化している中、単純なコストカットだけでは多様な市民ニーズに対応することが難しくなってきていると思う。 財政運営プランの策定も、他のプランと連携しているとは思いますが、ぜひ福岡市でも行政運営と一体的に、財政運営を進めてもらいたい。	
5	以下の記載を追記してほしい。 ●財政運営プランと、政策推進プランや行政運営プランとの相互関係がわかりにくい ●類似団体（他の政令指定都市）との比較を追加してほしい ●「一般財源の推移」グラフにおける「県費負担教職員制度の権限移譲に伴う増加」について、内訳を教えてください。 ●「経常的経費に要する一般財源の見通し（試算）」グラフにおける「その他経常的経費」について、内訳を記載してほしい。	■一部修正 財政運営プランと、政策推進プランや行政運営プランの相互関係については、1頁、9頁、15頁をご参照ください。 類似団体（他の政令指定都市）との比較については、3頁をご参照ください。 H29年度は、県費負担教職員に係る権限移譲に伴う、H30年度個人市民税の税率変更までの経過措置として新設された県民税所得割臨時交付金（グラフ中「その他」）などの増、H30年度は、税率変更による個人市民税（グラフ中「市税」）などの増となっております。 ご意見を踏まえ、8頁のグラフの表現を修正します。 <修正前> その他経常的経費 <修正後> その他経常的経費（物件費等）

番号	意見要旨	照会
総論		
5	以下の記載を追記してほしい。(続き) ●市財政に関する情報(例えば「財政のあらまし」)の紹介を追加してほしい ●地方交付税制度の動向、説明を追加してほしい ●プライマリーバランスの推移に関する分析を追加してほしい ●特別会計と企業会計において市債発行額が抑制されてきた理由を追加してほしい ●市税の主なものの内訳とそれぞれの経年変化を追加してほしい ●市財政における社会保障関係費(医療・介護保険(特別会計)への繰出金等)の占める割合や、その推移に関する説明を追加してほしい ●公共施設等の建替え・改修等に係る経費が、「福岡市アセットマネジメント推進プラン」に基づいて示されているが、投資的経費の見通しにどのような影響を及ぼすのかの説明を追加してほしい ●歳出と歳入の両方を含めた財政シミュレーションを示してほしい。	財政運営プランは、「持続可能な財政運営に向けた取り組みの基本的な方向性を示す指針」として策定しております。ご指摘の財政状況に関する詳細な内容については、「決算の大綱」「財政のあらまし」などをご参照ください。また、ご意見を踏まえ、市財政に関する情報の紹介を<目次>に追加いたします。 <修正前> 注1)本資料の「見通し」は、令和7年3月時点での制度や社会情勢を前提に、これまでの傾向や人口推計等を元に算出した大まかな見通しです。 <修正後> 注1)本資料の「見通し」は、令和7年3月時点での制度や社会情勢を前提に、これまでの傾向や人口推計等を元に算出した大まかな見通しです。 また、財政状況については、「決算の大綱説明資料」や、市民向け広報冊子「財政のあらまし」などを公表しておりますので、そちらもご参照ください。 歳出については、令和7年3月時点での制度や社会情勢を前提に、これまでの傾向や人口推計等を元に算出した大まかな見通しを掲載しています。 歳入については、景気変動などによって大きく増減することなどから、将来の見通しではなく、過去の推移を掲載しております。

(2) 主な取り組み

番号	意見要旨	照会
主な取り組み		
6	【市税及び税外債権の確保】【受益者負担の適正化】 老朽化対策など必要な投資は行いつつ、将来世代への過大な負担を残さないよう、プランに基づく取り組みを着実に実施してもらいたい。 特に、滞納整理などの債権管理や受益者負担の適正化など、公平性の観点から課題のある分野については市民の納得感を得られるよう、取り組みを進めてもらいたい。	□ 原案どおり 利便性の高い納税環境の整備、適正課税の推進、滞納整理の強化などにより、歳入の根幹である市税収入の適正確保に取り組みます。 税外債権について、民間事業者の活用などを図りながら、滞納発生の未然防止、初期滞納対策、累積滞納の整理等を適切に進め、全庁的な債権管理の推進に取り組みます。 受益者負担の適正化について、施設の特性に応じた適正利用の推進や公平性の確保などの観点を踏まえた取り組みを進めます。また、引き続き、使用料等に関する見直しについて検討を進めます。
7	【市有財産の有活用等による財源の確保】 災害などが起きた場合に備えて、基金を積み立てておくべき。	□ 原案どおり 経済情勢の変動により財源が不足する場合や、災害発生などにより緊急に支出が必要な場合に備えるため、財政調整基金の確保に努めます。

番号	意見要旨	照会
主な取組み		
8	【既存事業の組替えなど不断の改善】 今後も事業のスクラップアンドビルドに取り組んでもらいたい。 社会情勢の変化に対応した行政サービスになるよう見直しを続けてほしい。	☐ 原案どおり 社会経済情勢の変化や市民ニーズの多様化などに柔軟に対応するため、施策・事業の徹底した選択と集中、既存事業の組替えなど不断の改善に取り組みます。
9		
10	【長期的な市債残高の縮減に向けた発行抑制】 将来世代に負担が残りすぎないように、借金を減らしてほしい。	☐ 原案どおり 政策推進プランに基づく投資の選択と集中により、市債発行を抑制するなど、将来世代へ過度な負担を残さないよう長期的な市債残高の縮減、公債費負担及び将来負担の軽減に取り組みます。
11	【将来負担比率の適正な管理】 将来負担比率が他都市以上に改善が続いているということで安心した。 年度によって増減があっても、政令市平均程度を目指して管理してもらいたい。	☐ 原案どおり 将来負担比率は、これまでも毎年度改善してきており、概ね政令市平均程度を維持できるよう引き続き適正に管理します。